

令和3年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称		宝塚市立中山台コミュニティセンター			
所在地		宝塚市中山桜台5丁目15番2号			
指定管理者	団体名	中山台コミュニティ	指定期間	開始日	平成28年4月1日
	所在地	宝塚市中山桜台5丁目15番2号		終了日	令和3年3月31日
選定方法		非公募	評価実施年	指定期間5年のうち5年目	
施設設置目的		地域社会における市民相互の交流及び相互扶助並びに市民の主体的な学習活動等を促進し、連帯感のある新しいコミュニティづくりに資するため。			
主な実施事業		会館管理運営事業			

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用回数	回		3168		3315		2967		1562
b 稼働率	%		37.4		35.8		33.5		20.2
c									
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分		平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算
収入計	A	16,225	16,342	15,734	14,183
指定管理料		11,539	11,539	11,614	11,687
利用料収入	C	3,826	3,878	3,288	1,886
自主事業収入		0	0	0	0
その他		860	925	832	610
支出計	B	15,959	16,294	15,562	14,183
指定事業費		15,959	16,294	15,562	14,183
内、人件費	D	7,095	7,326	7,402	7,321
内、再委託料	E	2,578	2,666	2,641	2,626
自主事業費		0	0	0	0
事業収支	A-B	266	48	172	0
利用率比率	C/A	23.6 %	23.7 %	20.9 %	13.3 %
人件費率	D/B	44.5 %	45.0 %	47.6 %	51.6 %
再委託費比率	E/B	16.2 %	16.4 %	17.0 %	18.5 %

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から5月31日までは臨時休館とし、令和3年1月18日から2月28日までは20時までの開館時間短縮、令和3年3月1日から3月7日までは21時までの開館時間短縮を行った。

4 評価

注)自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの履行の確認	法例に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	A	A
② サービスの質の評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者提供するサービスの質の水準を評価する。	A	A
③ サービスの安定性の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	A	A
指定管理者所見 (成果、課題等)	<p>①点検、保守点検、業者による清掃はコロナ禍にあったが、安全確保のため例年通り確実に実施した。スタッフによる消毒、清掃、植木の剪定などの美化にも注意を払っている。個人情報の適正管理に加え、各申請書に「利用目的と第三者提供は致しません」の文言を表示して、より厳正化を図った。緊急・災害時には緊急連絡網と危機対応マニュアルに沿って行動する事としている。</p> <p>②新型コロナ感染予防対策として「ご利用にあたってのお願い」に県のガイドライン並びに市からの通達に基づき、感染予防対策を箇条書きにして示し、説明の上、手渡しし、守っていただくことご利用者の安全確保に努めている。なお、カラオケなど利用目的によっては安全確保のためにご利用を自粛していただいている。また、万一、スタッフや関係者が感染した場合に備え、「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を制定した。コロナ禍で暗くなりがちの中、一方で1階フロア及び2階フロアのニッチ部分に地域の方のご厚意により嵯峨御流の生け花や、飾りを置いてもらい、美の空間や癒しの空間も実現できている。明るく丁寧な応対を実践すると共に、苦情等についても従来通り確認票を作成し、改善の一助としている。</p> <p>③収支については、新型コロナ感染拡大により臨時休館や時短、利用の一部自粛要請の結果、利用料収入が大幅に減少し予算額を大幅に下回った事により、極めて厳しい決算となったが、支出の削減により税引前の段階では何とか黒字が確保出来た。令和3年度から指定管理料が665千円減額となる対策として、来年度から利用料金の改定を告知した他、人件費を中心とした支出削減策も決定したが、事前の丁寧な説明が功を奏し、不満や苦情は皆無であった。なお、総論として市の監査委員による監査が実施されたが、質疑事項も監査報告書での指摘事項もなく、宝塚市立中山台コミュニティセンターの運営管理に問題が無かったものと理解している。</p>		
施設所管課所見 (成果、課題等)	<p>コロナ禍にあっても、点検委託などもしっかり実施され、その結果報告もきちんとしていただいていることから、施設の保全にも貢献していただいています。また、「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を制定されるなど、常に準備万全な姿勢で管理していただいています。地域の方の協力も得ながら使いやすい空間を作っていただいていると感じます。収支については、予算内で何とかやりくりされており、利用者への理解も得ながら運営管理をしていただいていることは評価に値すると考えています。</p>		
前年評価	A	総合評価	A

※評価区分

評価基準:	A (優良) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	B (良好) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C (要改善) = 協定書、仕様書等に定める要求水準を満足していない。
総合評価:	A (優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好) = 優良、要改善以外の評価
	C (要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。